

各種鋼板を高精度加工 即応性で信頼を獲得

納期相談
コスト相談
オンリーワン技術
メイドインジャパン
試作可
小ロット
量産対応



レーザー加工機による作業

【業務内容】 消防車への部品提供など 加工分野は多岐にわたる

「大徳工産」は、ステンレスやアルミなど各種鋼板の切断から曲げ、溶接までの高精度加工を一貫生産体制で行っている。旋盤加工やフライス加工、組立なども得意とし、顧客からのさまざまな要望にも応じている。

加工製品は、産業機械部品や下水処理施設・廃棄物処理施設関連部品、新幹線路関連部品、消防車輛部品など多岐にわたる。とりわけ、消防車輛部品においては国内トップシェアを誇る（株）モリタ（兵庫県三田市）と取引しており、全国の消防車ほとんどに同社の製品が採用されているという。

【強み】 現場経験による設計力と 高度な溶接技術が特徴

同社の強みのひとつは、4名のプログラマーによる独自設計力だ。プログラマー全員がメーカーの技術設計や製造現場で曲げ加工などを経験した経歴を持つ。そのため「どこから曲げればいいのか」など経験者ならではの発想で図面をとらえ、製造に最適な加工プログラムを作成。吉岡永宏社長は「彼らの設計力が高品質の支えだ」と胸を張る。

また、高度な溶接技術を持つことも強みだ。同社の溶接は、取引先であった「高浜鉄工」を平成15年に吸収合併したことに端を発している。当時から在籍している経験豊富なベテラン技術者を擁することにより、若手技術者に対してOJT教育で技術伝承に取り組んでいる。

【設備強化】 「ものづくり補助金」 活用で積極投資

積極的な設備投資により加工技術の高度化と作業の効率化を実現してきた。同社



完成した消防自動車用の部品



定評がある溶接技術

【今後の展望】 鉄鋼へのノウハウ生かし オリジナル製品の開発も

では、中小企業庁の「ものづくり補助金」活用により、平成26年に板材を一定の長さで切断するシャーリング加工機、同27年に高精度CNC（コンピューター数値制御）旋盤を導入。さらに、同29年にはファイバーレーザー溶接機と6軸間溶接ロボットを導入するなど、IT技術を駆使した生産性向上にも取り組んでいる。

特に、ファイバーレーザーについては同業他社での導入事例が少なく、この設備を活用することにより焼けの除去作業などを大幅に改善している。これにより低コストで高品質な製品ができるという。

同社は営業部門を持たず、新たな販路はすべて取引先からの紹介やホームページからの問い合わせにより拡大しており、現在の顧客数は200社を超える。現場で働く従業員が直接顧客とコミュニケーションを取り、不備があれば即対応する行動の早さが顧客からの信頼につながっているという。

現在は100%受注加工だが、鉄鋼部品に関する切断・曲げ・溶接のノウハウや知識が豊富に蓄積されているため、「これを生かす形で、将来は自社オリジナル製品の開発に乗り出したい」と考えた。

当社の歴史



私は大阪工業大学の二部に通いながら昼間はシャーリング工場で働き、技術と経営ノウハウを取得したうえで、29歳の時に独立しました。本社がある大阪の地と私の出身地である鹿児島県・徳之島が、社名の由来になっています。「納期とアフターケアを大切に」が変わらぬモットーです。

代表取締役 吉岡 永宏さん

<http://www.daitokukousan.co.jp/>

主な事業内容

各種鋼板の切断、曲げ、溶接の一貫加工

主な取引先(納入先)

産業機械メーカー、
消防車輛メーカー

●住所

〒567-0847
茨木市
野々宮1-2-30

●TEL 072-633-4649
●FAX 072-633-4643
●創業 平成8年3月
●設立 平成8年3月
●資本金 1,000万円
●従業員 29名